

地域活動協議会への支援状況(運営)

【旭区】(受託者:一般財団法人大阪市コミュニティ協会・関西総合研究所)

めざす姿	地域活動協議会の取組(※)	地域課題やニーズ(支援が必要な課題等)	実施時期	支援策(取組)名称	支援(取組)概要	実績(参加者数等)
<b>地域課題への取組</b>						
地域課題やニーズを把握し、これに対応するために安定継続的に活動が行われている	地域課題やニーズに対応した活動の実施	●防災意識の向上	平成26年6月～平成27年1月	●防災まち歩きの実施	●防災点検まち歩きについて、事前にマップ、チラシ案、次第などの作成を支援し、当日は班別などに分かれてまちを歩き、まとめの支援をした。その後ワードでデータ作成を実施し、かわら版に反映させるように支援した。 ●古市地域は、各町会ごとにまち歩きを実施し、とりまとめ作業を少人数で行った。 ●構成団体長会議の第3回からは、旭区まちづくりセンターが企画進行役となり、ワークショップ方式で運営。地域活動協議会の理解と情報共有の促進をめざした。H27年度は6地域で実施済み。	●防災まち歩き、全10地域で終了(平成26年6月～平成27年2月。合計322名参加) ●構成団体長会議全10地域で終了(第1回、第2回は区役所主催・まちづくりセンター記録作成、第3回はまちづくりセンターの企画進行。合計159名参加)。構成団体相互の情報共有に一定の進捗をみた。 ●平成27年度は6地域で終了。82名参加。
		●地域内構成団体相互の良好な関係づくり	平成26年6月～平成27年12月	●構成団体長会議の実施		
		●広報活動の充実				
<b>つながりの拡充</b>						
イベント等の取組に、これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加が促進され、地域住民同士のつながりが拡大している	これまで地域活動に関わりの薄かった住民の参加の促進	●防災意識の向上(再掲) ●地域内構成団体相互の良好な関係づくり	平成26年6月～平成27年1月 平成26・27年8月	●防災まち歩きの実施(再掲) ●旭区民まつり(H26年8月29日、H27年8月29日)	●昨平成25年来、防災の分かれ道(クロスロード)を実施したことなどにより、地域における災害への備えについて、関心が高まっている。平成26年度は子どもたちへの支援の観点から、区役所と協力して、防災スリッパづくりの支援を実施した。(生江、大宮、古市、3校合同、高殿) ●旭区民まつりにて地活協のアピール。各地域も地活協としてイベント参加。 ●平成27年1月17日、阪神淡路大震災20年の日、今市中学校、太子橋小学校、古市小学校合同の土曜授業にて、防災の分かれ道、新聞紙スリッパづくりを支援した。 ●2月8日高殿小学校5年、6年15名がジュニア防災リーダー結団式支援 ●新森地域ジュニア防災団(平成27年9月14日結団式)、生江地域防災ジュニア(平成27年9月6日結団式)支援	●防災訓練において、新聞紙によるスリッパづくりなど実施(生江小学校児童120名・地域200名、大宮小学校児童120名・地域200名、古市小学校児童30名・地域100名) ●旭区民まつり地活協ブース約500名来訪。 ●3校合同授業児童生徒250名、地域PTA150名、学校関係者30名など。 ●高殿ジュニア防災リーダー研修会(平成27年4月8日)
		●3校連携合同防災教室支援 ●高殿ジュニア防災リーダー ●新森地域防災ジュニア ●生江地域ジュニア防災団	平成27年1月17日 平成27年2月8日 平成27年4月～8月			
地活協を構成する活動主体同士や、地活協と他の活動主体との連携・協働が促進されている	地域活動協議会を構成する活動主体同士の連携・協働(担い手の拡大含む)【地域活動協議会内部】	●地域内構成団体相互の良好な関係づくり	平成26年6月～平成27年6月	●構成団体長会議の開催、記録作成 ●役員レベルの組織の在り方について支援	●構成団体長会議は、H27年度は6地域で実施済み。 ●平成24年度末に開設した各地域のホームページについて、順次内容充実のための支援を実施した。プロボノマラソンにてフェイスブック開設の支援を実施した(古市地域10月18日)。平27年度のプロボノでは、フェイスブック支援(大宮)、かわら版支援(清水)。その後高殿南地域、城北地域においてフェイスブック作成を支援した。 ●組織作りについての支援を実施した(大宮、高殿、高殿南) ●かわら版については、まずまちづくりセンターで作成してきたが、平成28年1月末現在、5地域で自主的に作成。10月31日のプロボノをきっかけとして、自主的な作成を開始(大宮、清水)。	●構成団体長会議各回20名～40名参加。 ●ホームページ適宜支援、フェイスブック支援(古市、大宮、生江、城北、高殿南の5地域) ●かわら版全10地域で発行(平成28年1月末現在、自主的作成は5地域:新森、中宮、高殿、清水、大宮)
		●円滑な組織運営 ●広報活動の充実(再掲)	通年	●ホームページ更新の支援、フェイスブック開設の支援 ●かわら版の作成支援		
	地域活動協議会と他の活動主体との連携・協働【外部との連携・協働】	●構成団体の使いやす い会議の場の提供	平成26年4月1日～	●旭まちづくりサロン	●平成26年4月1日開設、8月11日美装化終了、9月1日から祭日もオープン(区役所と協力)。平成28年2月5日現在23団体(平成27年9月1日から③団体追加)登録、受付事務を継続中。	●日常的な会議に活用されている。
		●防災意識の向上(再掲) ●地域間、構成団体相互の良好な関係作り ●学校と地域の連携の強化	平成26年6月～平成26年4月～	●井戸端会議に参加 ●学校の土曜事業に参画	●古市井戸端会議に出席し、地活協についての説明、地域の課題について、情報交換。 ●学校の土曜事業に地域活動協議会が参画し、地域住民と学校が同じ場で防災を学ぶ機会をつくり、異世代での防災訓練を実施した。(平成26年度生江、大宮、平成27年度 生江、大宮、高殿、古市、高殿南、新森、大宮西の7地域で実施)。 ●平成27年1月17日3校合同土曜授業に参加し、企画進行、記録作成。 ●実務担当者間の情報共有を目指して、ふれあい喫茶の相互訪問を支援。H27年8月開始9月16日大宮訪問。12月12日城北訪問。	●古市井戸端会議毎月実施に参加・情報提供(5名～10名参加)。 ●土曜授業平成27年度:生江120名、大宮60名、高殿160名、古市120名、高殿南260名、新森650名、大宮西400名。 ●城北と大宮が相互訪問。情報交換が進んだ。
地域公共人材の活用	●外部の専門家による地域活動の支援	平成25年8月～平成27年10月	●プロボノによる地域活動の支援(ロゴ、だんじり振興、かわら版、フェイスブック)	●平成25年度:中宮かわら版、中宮だんじり振興、まちセンロゴ作成 ●平成26年度:古市フェイスブック ●平成27年度:清水かわら版、大宮フェイスブック	●外部の専門家の参加により、特に広報活動についての進展がみられた。平成28年2月5日プロボノ情報交換会(25名参加)	
<b>組織運営</b>						
民主的で開かれた組織運営と会計の透明性が確保されている	議決機関(総会・運営委員会等)の適正な運営	●地活協としての運営委員会の開催	適宜	●運営委員会・総会の開催支援	●平成28年1月1日現在、6地域で運営委員会開催(新森:2か月に1回、大宮:奇数月 第3土曜日、中宮:不定期、生江:不定期、高殿:偶数月 第3月曜日、高殿南:不定期) ●平成27年総会開催にあたり、資料作成支援を実施した。	●平成26年度総会資料作成支援(各地域20名～50名程度の出席)
	会計事務の適正な執行	●予算の民主的な配分決定と適切な執行	通年	●会計担当者への支援 ●会計説明会開催と個別支援	●平成26年度は委託事業が開始され、地域に負担をかけないソフトを提供した。 ●平成27年度は個別に地域を支援。全体会計説明会開催に出席して情報共有。	●平成26年度会計ソフト全10地域の支援完了(個別に訪問して支援)。平成27年度からは事業費全体の報告の必要性を伝達。
	多様な媒体による広報活動	●広報の充実、ホームページの自主的更新の促進 ●かわら版の自主的作成	通年(再掲)	●ホームページ更新の支援(再掲) ●かわら版の作成支援(再掲)	●平成24年度末に開設した各地域のホームページについて、順次内容充実のための支援を実施した。平成25年度からプロボノ、プロボノマラソンにて活動支援(再掲)。 ●かわら版については、まずまちづくりセンターで作成していたが、H28年1月31日現在5地域で自主的に発行(再掲)。	●ホームページ更新、適宜支援。 ●フェイスブック6地域で支援(古市、大宮、生江、城北、高殿南、太子橋) ●かわら版全10地域で発行(清水、新森、古市、太子橋、大宮、中宮、生江、城北、高殿、高殿南)
<b>区独自の取組み</b>						

※具体的な取組については「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組(イメージ)」を参照